



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場会社名 双信電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6938 URL <http://www.soshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鶴田 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 上岡 崇

TEL 03-5730-4500

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,569	△10.3	△53	—	△34	—	△54	—
24年3月期第1四半期	2,865	—	105	—	120	—	86	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △94百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.46	—
24年3月期第1四半期	5.55	—

(注) 1. 24年3月期第1四半期の対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	14,391	11,544	80.2	740.08
24年3月期	14,674	11,701	79.7	750.15

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,544百万円 24年3月期 11,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	△4.5	80	△65.9	110	△57.4	40	△75.8	2.56
通期	11,800	5.4	450	140.9	500	82.6	360	110.0	23.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更： 有
 - ③ 会計上の見積りの変更： 有
 - ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	15,600,000 株	24年3月期	15,600,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,272 株	24年3月期	1,272 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	15,598,728 株	24年3月期1Q	15,598,796 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おきください。なお、上記予想に関する事項は添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における経済情勢は、東日本大震災からの復興需要を背景に国内需要は緩やかな回復傾向にあったものの、欧州での債務問題に係る金融不安が再燃したことにより、円高、株価の低迷が続き、中国での景気減速感も強まるなど依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、産業機器市場は自動車関連市場が比較的活況に推移したものの、半導体製造装置の需要低迷が継続し、中国での設備投資需要に陰りが見えるなど不透明感が増しております。情報通信機器市場はスマートフォンやタブレット型情報通信端末の世界的な需要が高まる一方、従来一定の成長を続けていたパソコンの出荷は鈍化傾向となりました。

当社グループにおきましては、ノイズ関連市場向けのノイズフィルタは半導体製造装置向けおよび工作機械市場向けが減少しましたが、環境、新エネルギー向けが好調に推移したことにより増加いたしました。また、自動車の厚膜印刷基板も堅調に推移し増加しましたが、鉄道信号用のLCフィルタが大幅に減少し、産業機器市場向けは前年同期と比べ僅かに減少いたしました。

情報通信機器市場向けは端末向けではパソコン用の厚膜印刷基板を中心に減少し、基地局向けフィルタ、カメラ・バランも欧州を中心とした市場の低迷の影響を受け減少いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25億69百万円（前年同期比10.3%の減少）となりました。

損益につきましては、コストダウンや固定費削減等を推し進めてまいりましたが、売上高の減少をカバーするには至らず、営業損失53百万円（前年同期は1億5百万円の利益）、経常損失は34百万円（前年同期は1億20百万円の利益）、当期純損失は54百万円（前年同期は86百万円の利益）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔産業機器市場〕

当セグメントの売上高は14億10百万円（前連結会計年度比2.3%の減少）となりました。

ノイズ関連市場向けのノイズフィルタは、半導体製造装置市場の低迷と中国の景気減速や欧州での金融不安による設備投資抑制の影響を受けましたが、再生可能エネルギーの買い取り制度が施行されることを受け、環境、新エネルギー向けが堅調に推移したことにより増加いたしました。

また、自動車用厚膜印刷基板は前第1四半期連結累計期間においては東日本大震災の影響により大幅な減産となりましたが、当第1四半期連結累計期間はエコカー補助金の後押しもあり増加いたしました。

一方、鉄道信号用LCフィルタは、整備新幹線の新規投資が一巡したことにより大幅に減少いたしました。プラスチックフィルムコンデンサは工作機械、鉄道信号市場向けを中心に減少いたしました。

営業利益は、売上高の減少と海外生産移管のための一時的な費用増加等により7百万円（前年同期比81.2%の減少）となりました。

〔情報通信機器市場〕

当セグメントの売上高は9億69百万円（前連結会計年度比17.8%の減少）となりました。

情報通信インフラ市場は、北米、欧州市場の低迷によりフィルタ、カメラ・バランの需要が落ち込み減少いたしました。

情報通信端末市場においては、中国の景気減速や欧州での金融不安の影響を受け、パソコン販売が伸び悩んだことから厚膜印刷基板が減少いたしました。また携帯端末用積層誘電体フィルタも僅かに減少いたしました。

営業損失は売上高の減少により39百万円（前年同期は49百万円の利益）となりました。

〔その他〕

当セグメントの売上高は2億6百万円（前連結会計年度比19.7%の減少）となりました。

当事業の主な内容は上記に含まれない実装事業であり、主として地上デジタル放送に完全移行されたことに伴い、関連機器向けの需要が一巡し減少いたしました。

営業利益は売上高の減少により2百万円（前連結会計年度比90.2%の減少）となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。業績予想を修正する必要がある場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（売上高の認識基準の変更）

当社および国内連結子会社では、従来、主として出荷基準により収益を認識しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、契約条件等に基づき着荷日等に収益を認識する方法に変更しております。

この変更は、当第1四半期連結会計期間より親会社である日本碍子株式会社が収益認識基準を変更することに伴い、親子会社間の会計処理を統一することを目的としており、これを契機に社内体制を見直した結果、契約条件等に基づき着荷日等に収益を認識する環境が整ったことから、期間損益をより適正に算定するために行ったものであります。

なお、前年四半期および前連結会計年度については、当該会計方針変更を遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は29,445千円減少しており、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,796千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより利益剰余金の前期首残高は56,016千円減少しております。

（減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,880	650,080
受取手形及び売掛金	3,706,192	3,488,204
商品及び製品	197,630	135,792
仕掛品	235,581	296,515
原材料及び貯蔵品	510,972	538,701
繰延税金資産	39,828	40,204
短期貸付金	3,626,163	3,441,928
その他	186,134	203,595
貸倒引当金	△560	△592
流動資産合計	9,158,820	8,794,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,918,400	4,911,481
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,613,313	△3,625,498
建物及び構築物（純額）	1,305,087	1,285,983
機械装置及び運搬具	7,144,535	7,070,601
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,439,790	△6,389,685
機械装置及び運搬具（純額）	704,745	680,916
土地	994,622	994,622
建設仮勘定	40,557	166,098
その他	496,798	498,846
減価償却累計額及び減損損失累計額	△463,383	△467,363
その他（純額）	33,415	31,483
有形固定資産合計	3,078,426	3,159,102
無形固定資産	39,381	34,589
投資その他の資産		
投資有価証券	198,651	182,523
前払年金費用	2,045,741	2,069,828
繰延税金資産	31,320	26,424
その他	131,857	134,264
貸倒引当金	△9,400	△9,400
投資その他の資産合計	2,398,169	2,403,639
固定資産合計	5,515,976	5,597,330
資産合計	14,674,796	14,391,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	987,001	924,045
短期借入金	160,000	160,000
未払法人税等	97,170	8,730
未払金	227,085	349,876
賞与引当金	372,975	196,742
役員賞与引当金	6,900	—
その他	229,907	322,953
流動負債合計	2,081,038	1,962,346
固定負債		
繰延税金負債	751,627	755,332
退職給付引当金	82,192	84,994
役員退職慰労引当金	56,048	42,345
資産除去債務	2,463	2,463
固定負債合計	892,330	885,134
負債合計	2,973,368	2,847,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,806,750	3,806,750
資本剰余金	3,788,426	3,788,426
利益剰余金	4,357,431	4,241,030
自己株式	△868	△868
株主資本合計	11,951,739	11,835,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,166	3,911
為替換算調整勘定	△263,477	△294,972
その他の包括利益累計額合計	△250,311	△291,061
純資産合計	11,701,428	11,544,277
負債純資産合計	14,674,796	14,391,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,865,843	2,569,902
売上原価	2,096,227	1,996,913
売上総利益	769,616	572,989
販売費及び一般管理費	664,395	626,223
営業利益又は営業損失(△)	105,221	△53,234
営業外収益		
受取利息	6,166	6,773
受取配当金	4,909	5,800
物品売却益	11,043	11,956
その他	3,461	1,630
営業外収益合計	25,579	26,159
営業外費用		
支払利息	366	329
為替差損	8,211	5,199
その他	1,868	1,430
営業外費用合計	10,445	6,958
経常利益又は経常損失(△)	120,355	△34,033
特別利益		
固定資産売却益	50	6
特別利益合計	50	6
特別損失		
固定資産売却損	3,900	108
固定資産除却損	197	262
投資有価証券評価損	—	3,280
特別損失合計	4,097	3,650
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	116,308	△37,677
法人税、住民税及び事業税	18,607	3,680
法人税等調整額	11,183	12,649
法人税等合計	29,790	16,329
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	86,518	△54,006
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,518	△54,006

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	86,518	△54,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,170	△9,255
為替換算調整勘定	9,970	△31,495
その他の包括利益合計	12,140	△40,750
四半期包括利益	98,658	△94,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,658	△94,756
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 市場	情報通信 機器市場	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,439,949	1,174,990	2,611,939	254,742	2,866,681	△838	2,865,843
セグメント間の内部売 上高又は振替高	3,367	7,636	11,003	2,406	13,409	△13,409	—
計	1,443,316	1,179,626	2,622,942	257,148	2,880,090	△14,247	2,865,843
セグメント利益	39,684	49,772	89,456	23,828	113,284	△8,063	105,221

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、実装製品等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△8,063千円は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 市場	情報通信 機器市場	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,401,620	965,792	2,367,412	205,046	2,572,458	△2,556	2,569,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,955	4,118	13,073	1,320	14,393	△14,393	—
計	1,410,575	969,910	2,380,485	206,366	2,586,851	△16,949	2,569,902
セグメント利益又は損失(△)	7,469	△39,263	△31,794	2,346	△29,448	△23,786	△53,234

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、実装製品等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△23,786千円は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 会計方針の変更

当社および国内連結子会社では、従来、主として出荷基準により収益を認識しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、契約条件等に基づき着荷日等に収益を認識する方法に変更しております。これにより、前第1四半期連結累計期間については、当該会計方針を適用したセグメント情報を開示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。